



企画展『ありがとう深江丸』『ふね遺産進徳丸（継続）』

野村，昌孝

(Citation)

海事博物館研究年報, 50:3-5

(Issue Date)

2023-03-31

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(JaLCD0I)

<https://doi.org/10.24546/0100482205>

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/0100482205>



企画展『ありがとう深江丸』 『ふね遺産進徳丸（継続）』

館長 野村 昌孝

昭和2（1927）年1月23日、神戸大学深江キャンパスの前身である神戸高等商船学校に汽艇「深江丸」が進水し誕生した。その後、昭和27（1952）年5月に開学した神戸商船大学では3隻の実習船、後に練習船が順次就航して船名の「深江丸」が代々受け継がれた。深江丸（Ⅳ：以後、深江丸という。）は昭和62（1987）年10月14日に就航し、様々な運航目的で多岐にわたり活用されてきたが、船齢31年目の平成30（2018）年12月14日、重要インフラの緊急点検に関する閣僚会議における“防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策”の一環で「大規模災害発生時に支援を行うことが可能な練習船の整備：国立大学の保有する練習船の建造」が予算化され、令和4年3月の引渡し・就航に向けて新船の建造が本格化した。同時に深江丸の用途廃止に向けた一連の手続きが進行し、令和4（2022）年3月15日に次の事業者へと引き渡されて深江キャンパスを離れ、同月23日には後継の練習船「海神丸」（かいじんまる）が就航した。

海事博物館では就航から35年にわたり大学とともに歩み、幾多の実績を残した深江丸の活動に焦点をあてて企画展2022「ありがとう深江丸」を開催した。また、神戸高等商船学校時代に建造された練習帆船（のちに汽船練習船）「進徳丸」（しんとくまる）が令和3年7月22日、公益社団法人日本船舶海洋工学会により“ふね遺産第38号＜非現存船第8号＞”に認定され、先の企画展2021において「ふね遺産進徳丸」を開催したところである。しかし、新型コロナウイルス（COVID-19）のパンデミックに伴い、従前同様に開館の機会を確保できなかったことから、企画展2021「ふね遺産進徳丸」を2年度にわたり継続開催とし、企画展2022「ありがとう深江丸」とあわせて2テーマの同時開催に至った。

海事博物館企画展
ありがとう深江丸
～練習船35年間の軌跡～
2022年 7/22(金) ▶ 2023年 5/31(水)
同時開催
ふね遺産 進徳丸
(2021年7月20日 認定第38号)
ふね遺産認定機関：公益社団法人 日本船舶海洋工学会
主催：神戸大学海事博物館
協力：一般社団法人 海洋会
協賛：関西会 海神会
深江丸(Ⅳ)

企画展2022垂れ幕

ごあいさつ

昭和2(1927)年1月23日、神戸大学深江キャンパスの前身である神戸高等商船学校に汽船「深江丸」が進水・誕生した。その後、昭和27(1952)年5月に開学した神戸商船大学では3隻の実習船・練習船が順次就航し、船名の「深江丸」が代々受け継がれ、キャンパスの象徴的存在であり続けた。深江丸(Ⅳ)は昭和62(1987)年10月14日に就航し、35年の長きにわたり練習船として、ときには調査・研究・調査活動をもつと、さらには一時的な旅客船として多岐にわたり活用された。船齢20年を迎える頃から老朽化と最新設備への更新の要望から新船の建造が待ち望まれた。このような中、船齢31年目の平成30(2018)年12月14日、重要インフラの緊急点検に関する閣僚会議における「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の一環で「大規模災害発生時に支援を行うことが可能な練習船の整備：国立大学の保有する練習船2隻の建造」が予算化された。このうちの1隻が深江丸の後継船であり、令和4年3月の引渡し・就航に向けて建造が開始された。同時に深江丸の用途廃止に向けた一連の手続きが進行し、令和3年11月4日の教育関係共同利用(他大学の教育利用)を最後に深江丸は練習船としての運航を終えて専用岸壁に係船され、年が明けた令和4(2022)年3月15日に深江キャンパスを離れ、神戸をあとにした。同月23日には後継の練習船「海神丸」が就航した。

海事博物館では就航から35年にわたり大学とともに歩み、大学の所有する練習船として数々の実績を残した深江丸(Ⅳ)との別れを惜しみ、数々の軌跡を振り返り、企画展2022「ありがとう深江丸」の開催を計画し準備を進めてきた。また、神戸高等商船学校時代に建造された練習船(のち汽船)「進徳丸」が令和3年7月22日、公益社団法人日本船舶海洋工学学会により「ふね遺産第38号<非現存船第8号>」に認定され、先の企画展2021において「ふね遺産進徳丸」を開催したところである。しかし、当館では新型コロナウイルス(COVID-19)のパンデミックに伴う本学の活動制限計画に際して長期休館を決定し、その後、週1回の臨時開館を経て2021年12月1日より通常開館へと復した。残念ながら開館日数や様々な制約から、コロナ禍以前のように来館者をお迎えできない状況が続いている。そこで企画展「ふね遺産進徳丸」を2年度にわたる継続とし、企画展2022「ありがとう深江丸」とあわせて2テーマの同時開催に至り、より多くの皆様に関係を紹介することにした。

海事博物館長 野村 昌孝



来館のご案内とアクセス
■開館日：月・水・金 13:30～16:00(祝日を除く)
ただし、8/6(土)～8/21(日)、
12/22(木)～1/15(日)は休館

見学のお問い合わせ・連絡先
海事博物館 Tel: 078-431-3564
(博物館事務局は上記の電話番号と開館時間と同じ)
<http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp>



阪神電車を利用される場合
深江駅から徒歩約10分
▲上記地図を参照

■市民セミナー(大学院海事科学研究科公開講座)
2022年11月(予定)

■巡回展(六甲台キャンパス)
神戸大学百年記念館
2022年12月1日(木)～2023年2月3日(金)
神戸大学社会科学系図書館
2023年3月～(予定)

■主催：神戸大学海事博物館

■協力：公益社団法人 海洋会 ■監賛：同志会 海神会

■ふね遺産認定機関：公益社団法人 日本船舶海洋工学学会

企画展

ありがとう深江丸

～練習船35年間の軌跡～



同時開催 ふね遺産 進徳丸
(2021年7月22日認定)

2022年 7/22(金) 2023年 5/31(水)

神戸大学 海事博物館
船と海の過去、今、夢ある未来が詰まった博物館



ありがとう深江丸 <企画展2022> ふね遺産 進徳丸 <企画展2021継続>

深江丸は、本学附属の練習船です。海事科学研究科キャンパスが位置するゆかりの地、深江になんで名付けられ、近代史の船名を受け継がれてきました。神戸高等商船学校の汽船に始まり(深江丸(Ⅰ))、戦後は神戸商船大学において、大学独自の教育研究のための実習船として建造されます(深江丸(Ⅲ))。その後昭和43年進水の深江丸(Ⅳ)、昭和62年進水の深江丸(Ⅴ)と更新を続け、常に新たな時代に適応した海技者の育成、調査研究、一般市民への海事や科学の普及啓発に活躍したほか、近年は災害支援も視野に入れた活動をしてきました。

2022年3月、大学の新練習船として海神丸が就航し、深江丸(Ⅳ)は就航以来、35年の長きにわたる活動に終止符を打ちました。本企画展では昭和から平成、令和の時代を駆け抜けた深江丸(Ⅳ)の35年間の活動を中心に、海事教育・研究・普及の軌跡をご紹介します。あわせて、日本の海事史上重要な船舶として「ふね遺産」に認定された戦前の練習船、進徳丸について、昨年2021年度の企画展を再構成してご紹介します。

進徳丸 Zone

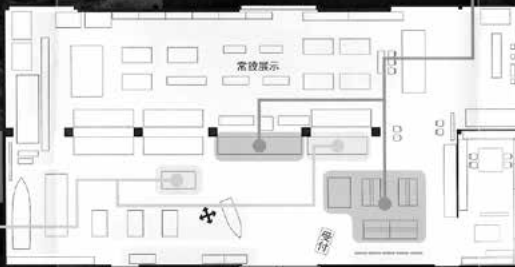


練習船・汽船・海運保存船
進徳丸
【神戸高等商船学校】

・就航時の総トン数:2518.42t 全長:109.10m
マスト高さ:海面から55m
進水:大正12(1923)年12月19日
就航:大正13(1924)年2月25日
解体:平成8(1996)年3月
※平成7(1995)年1月17日早朝に発生した阪神・淡路大震災で、東側至進徳岸が崩壊し設置地盤に甚大な被害
・総航程:53万海里(98万km)
・乗組員数:11,900人
・乗上げ後の利用者数:10万人
船名の「進徳」は大正12(1923)年9月1日の日に発生した関東大震災に際し、11月10日に発布された国民精神作興に関する詔書の一節「智徳並進」より。

深江丸 Zone

- ◆深江丸(Ⅰ) 総トン数:30.79t
進水:昭和2(1927)年1月23日
- ◆実習船深江丸(Ⅱ) 総トン数:150.86t
全長:31.83m
進水:昭和33(1958)年2月6日
- ◆実習船のち練習船深江丸(Ⅲ) 総トン数:361.71t
全長:37.00m
進水:昭和43(1968)年2月28日
- ◆練習船深江丸(Ⅳ) 総トン数:449.00t
全長:49.95m
就航:昭和62(1987)年4月14日
進水:昭和62年7月10日
就航:昭和62年10月14日
所有者:平成16(2004)年4月1日
文部科学省から神戸大学へ



入口



砂浜に停泊する進徳丸と深江丸(Ⅳ)



実習船
深江丸(Ⅲ)
【神戸商船大学】

実習船のち練習船
深江丸(Ⅲ)
【神戸商船大学】

練習船
深江丸(Ⅳ)
【神戸商船大学・神戸大学】

練習船
海神丸
総トン数:892.00t
全長:56.98m
就航:令和4年3月23日
【神戸大学】

企画展2022「ありがとう深江丸」リーフレット



企画展の紹介垂れ幕



エントランス



深江丸紹介コーナー



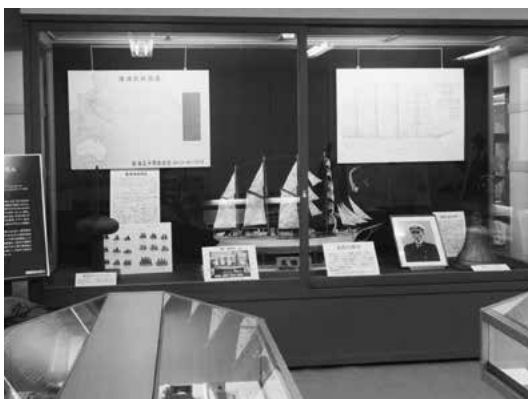
深江丸紹介コーナー



歴代の深江丸



深江丸の活動紹介コーナー



ふね遺産進徳丸紹介コーナー



深江丸と進徳丸の企画展示